

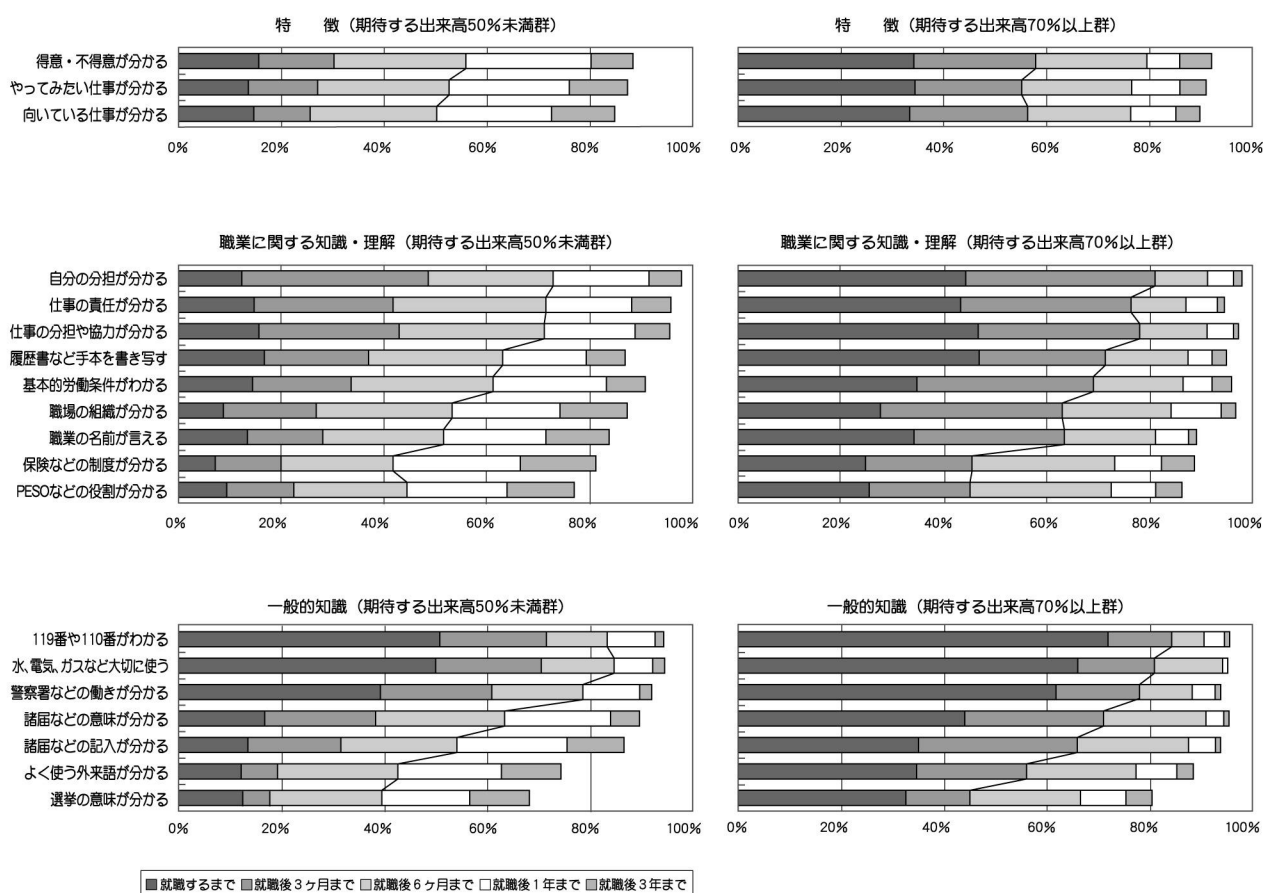


図1-14 期待する出来高の高低別 達成時期の見積もり（その3）

これに対し、『職業に関する知識・理解』などの領域の回答には「考えたことがない（分からない）」の回答が多くなっており、特に「仕事の出来高」50%未満群の方が70%以上群よりも多い。このような特徴をもつ領域としては『一般的知識』『特徴』があげられる。

課題達成の時期に関する事業所の意見は、業種や企業規模による違いは小さく、知的障害者に期待する「仕事の出来高」の高低による違いが顕著であった。しかし、その違いは、主として期待する達成時期が「早い」か「遅い」かにあり、達成時期からみた課題の並び順に大きな違いは見いだされなかった。

同形式の質問ではないことから単純な比較はできないが、雇用経験のある事業所における1996年度調査では、出来高の高低群で、期待する達成時期が「早い」か「遅い」ばかりではなく、達成時期からみた課題の並び順にも違いがあった。しかし、今回調査では、こうした質的な違いは明らかにならなかった。

第5節 一般就労を実現するための課題（その2）

—— 項目を積み上げて達成する6課題47項目 ——

一般就労を実現するための課題（その1）で検討された96課題に加えて、『安全について（5項目）』『時間の理解と管理について（10項目）』『移動について（7項目）』『数の理解について（8項目）』『言葉の学習について（7項目）』『金銭管理について（10項目）』の6課題、計47項目について、それぞれの項目が就労を実現するために「必要」であるかどうかを尋ねた。

課題（その2）では、課題毎に下位項目を設け、各課題を達成するにあたって、その準備段階を複数示し、その課題がどの程度の段階まで達成されていることを求められているのかを明らかにすることを試みた。評価は、「必要」と考える項目について○をつけることで求めた。したがって、「必要」と回答した率が高い項目ほど「できなくてはならない」と考えられていることになる。また、この下位項目を回答率順に並べることで、どの順でその課題が達成されることを“もっともらしい”と考えているかについての示唆が得られると考える。

1. 業種の違いによる回答傾向の差について

一般就労を実現するための項目について業種の違いによって、回答傾向に差がみられるかを χ^2 検定を用いて検討した。その結果、業種の違いにより回答傾向が有意に異なると認められた項目は47項目中7項目であった（表1-13）。したがって、業種による違いは少ないといえる。なお、業種の違いによって回答に偏りのみられた項目は主として『言葉の学習について』の項目（7項目中4項目）であった。

表1-13 業種によって回答傾向に差が認められた項目

課 題	5%水準で有意差の認められた項目	1%水準で有意差の認められた課題
時間の理解と管理	計画を立てることの必要性が分かる	
移動	電車やバスの切符を買う	
数の理解		簡単な除法が分かり、計算をする
言葉の理解	ひらがなや簡単な漢字を書く 語句や短い文を正しく読む できるだけ順序立てて書く	簡単なメモをとる

2. 企業規模の違いによる回答傾向の差について

企業規模によって回答傾向が有意に異なると認められた項目は47項目中20項目あった（表1-14 において網掛けした項目）。したがって、以下では企業規模を考慮した考察を行う必要がある。

表1-14 企業規模別にみた「必要」の回答率

		56～ 300人	301～ 500人	501～ 1000人	1001人 以上	平均	
安全について	危険な物や危険なことがわかる	85.2%	84.7%	85.6%	90.5%	86.6%	
	危険を示す言葉や標識がわかり指示に従う	83.0%	79.8%	79.3%	86.6%	82.2%	
	危険な状況を判断できる	68.2%	66.9%	72.4%	76.0%	71.0%	
	危険を示す言葉や標識がわかる	61.9%	59.5%	59.8%	72.1%	63.4%	*
	危険な状況に対処できる	43.2%	34.4%	36.8%	43.0%	39.5%	
時間の理解と管理について	仕事に行く日と行かない日があることがわかる	86.4%	85.3%	88.5%	91.6%	88.0%	
	時計でだいたい時刻を読む	73.3%	75.5%	76.4%	85.5%	77.7%	*
	今日の日付や曜日がわかる	71.6%	69.3%	79.9%	80.4%	75.4%	*
	規則正しい生活をする	46.6%	46.6%	48.9%	63.1%	63.1%	**
	日課に沿って生活する	42.0%	44.2%	50.6%	64.8%	50.6%	**
	日課表やスケジュール表を読む	36.4%	41.1%	50.0%	53.6%	45.4%	**
	時間や日数の計算をする	30.7%	36.2%	35.1%	44.1%	36.6%	
	乗り物などの時刻表を読む	30.7%	32.5%	33.9%	30.7%	31.9%	
	計画を立てることの必要性が分かる	25.6%	27.6%	29.9%	37.4%	30.2%	
	予定を立てて生活する	21.6%	29.4%	27.0%	31.3%	27.3%	
移動について	職場まで交通機関を利用して一人で行く	83.0%	76.7%	92.5%	91.6%	86.1%	**
	最寄りの駅やバス停まで一人で行く	73.3%	66.9%	71.3%	85.5%	74.4%	**
	会社の中で一人での目的の場所にいく	67.0%	68.7%	73.0%	87.3%	71.7%	
	交番や停留所・駅が分かる	63.6%	58.9%	62.1%	76.0%	65.3%	**
	電車やバスの切符を買う	59.1%	57.7%	66.7%	73.7%	64.5%	**
	知ってる場所なら一人でいく	51.1%	52.8%	58.6%	67.6%	57.7%	**
	知らない場所でも一人でいく	12.5%	9.2%	11.5%	10.6%	11.0%	
数の理解について	簡単な数字を読んだり書いたりする	75.0%	76.1%	80.5%	89.9%	80.5%	**
	簡単な数を数える	70.5%	74.2%	75.3%	86.6%	76.7%	**
	簡単な加法が分かり、計算をする	59.7%	59.5%	67.2%	79.3%	66.6%	**
	簡単な減法が分かり、計算をする	56.3%	57.1%	62.1%	74.3%	62.6%	**
	電卓を使って計算する	50.0%	51.5%	54.0%	54.7%	52.6%	
	長さや重さなどをはかったり数える	54.5%	41.7%	46.0%	58.7%	50.4%	**
	簡単な乗法が分かり、計算をする	31.8%	35.6%	35.1%	43.0%	36.4%	
	簡単な除法が分かり、計算をする	29.5%	29.4%	31.0%	38.5%	32.2%	

(*) 5%水準で有意 (**) 1%水準で有意

なお、表1-14は課題毎に全ての事業所を対象とした場合に、「必要」の回答率が高い順に並べてある。

表1-14 (続き) 企業規模別にみた「必要」の回答率

		56～ 300人	301～ 500人	501～ 1000人	1001人 以上	平均	
言葉の学習について	ひらがなや簡単な漢字を読む	77.8%	81.6%	81.6%	88.8%	82.5%	*
	しばしば目にふれる標識・看板・掲示などがわかる	75.6%	73.0%	76.4%	83.2%	77.2%	
	ひらがなや簡単な漢字を書く	67.0%	70.6%	73.0%	73.2%	71.0%	
	簡単なメモをとる	49.4%	56.4%	58.6%	65.9%	57.7%	
	語句や短い文を正しく読む	46.0%	46.6%	58.0%	68.2%	54.9%	
	語句や短い文を正しく書く	29.0%	31.9%	33.3%	43.6%	34.5%	
	できるだけ順序立てて書く	25.0%	19.6%	22.4%	22.9%	22.5%	
金銭管理について	勤労に対して報酬が得られることがわかる	81.3%	81.0%	84.5%	88.3%	83.8%	
	少額の買い物を一人でする	54.5%	54.6%	64.0%	63.1%	59.4%	
	商店を利用して、日用品を買う	51.1%	50.3%	55.2%	59.2%	54.0%	
	自動販売機を利用する	45.5%	53.4%	54.0%	58.7%	52.9%	
	収入にあわせて金銭を管理する	44.9%	52.1%	49.4%	54.7%	50.3%	
	日用品のおよその値段が分かる	38.6%	34.4%	39.1%	42.5%	38.7%	
	予算をたてて、計画的に買い物をする	15.3%	19.6%	19.5%	19.6%	18.5%	
	簡単な金銭収支を記録する	14.2%	14.1%	22.4%	17.3%	17.1%	
	計画的に貯金・預金をする	10.2%	16.6%	18.4%	19.6%	16.2%	
	家計の収入・支出が分かる	9.7%	11.7%	16.7%	12.3%	12.6%	

(*) 5%水準で有意 (***) 1%水準で有意

3. 事業所が重視する課題：企業規模別

今回の検討にあたり、回答事業所の80%以上が「必要」と回答した項目については、「特に必要とされる」項目、また、回答率が回答者全体の20%を下回る項目については「当面、必要とされない」項目とした。

表1-15に、「特に必要とされる」項目について企業規模別にまとめた結果を示す。なお、これらの項目のうち企業規模によって回答傾向が有意に異なった項目については、表中で網掛けがしてある。これらの項目では「職場まで交通機関を利用して一人で行く」の1項目をのぞき、企業規模1000人以上の事業所で最も「必要」であるとの回答が多かった。また、回答の傾向として、①企業規模が大きくなるにつれて「必要」であるとの回答が多くなる傾向と②企業規模301人～500人で「必要」であるとの回答が最も少なくなる傾向の2つが認められた。

表1－15 企業規模別にみた“特に必要とされる”項目

	56～ 300人	301～ 500人	501～ 1000人	1001人 以上	平均
危険な物や危険なことがわかる	85. 2%	84. 7%	85. 6%	90. 5%	86. 6%
危険を示す言葉や標識がわかり指示に従う	83. 0%	79. 8%	79. 3%	86. 6%	82. 2%
仕事に行く日と行かない日があることがわかる	86. 4%	85. 3%	88. 5%	91. 6%	88. 0%
時計でだいたいの時刻を読む	73. 3%	75. 5%	76. 4%	85. 5%	77. 7%
今日の日付や曜日がわかる	71. 6%	69. 3%	79. 9%	80. 4%	75. 4%
最寄りの駅やバス停まで一人で行く	73. 3%	66. 9%	71. 3%	85. 5%	74. 4%
職場まで交通機関を利用して一人で行く	83. 0%	76. 7%	92. 5%	91. 6%	86. 1%
簡単な数を数える	70. 5%	74. 2%	75. 3%	86. 6%	76. 7%
簡単な数字を読んだり書いたりする	75. 0%	76. 1%	80. 5%	89. 9%	80. 5%
ひらがなや簡単な漢字を読む	77. 8%	81. 6%	81. 6%	88. 8%	82. 5%
しばしば目にふれる標識・看板・掲示などがわかる	75. 6%	73. 0%	76. 4%	83. 2%	77. 2%
勤労に対して報酬が得られることがわかる	81. 3%	81. 0%	84. 5%	88. 3%	83. 8%

このように各項目毎に回答傾向を比較した場合には有意差が認められたものの、課題内における項目の並び順（「必要」と回答した率の高い順）については、企業規模を問わずほぼ一致していた。したがって、企業規模の大小によって、必要であると考ええる程度は異なるものの、どの順で必要であると考えるかについての意見は概ね共通しているといえる。そこで、以下では雇用経験のない事業所の意見として、課題毎にその並び順を示す（図1-15～図1-20）。

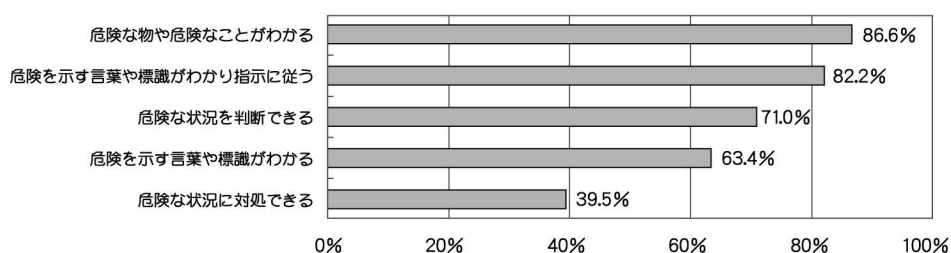


図1－15 安全について